

国語力とは、

( 論理的思考力 )

ろんりてきしこうりよく

である。

論理的思考力とは、

( **整理力** )

( **単純化力** )である。

たんじゅんかりよく

「3つの力」とは、

- ( 言いかえる力 )
- ( くらべる力 )
- ( たどる力 )

である。

「3つの関係」とは、

- ( 同等関係 )
- ( 対比関係 )
- ( 因果関係 )

である。

どうとうかんけい    たいひかんけい    いんがかんけい

言いかえる力

くらべる力

たどる力

話す力

書く力

発信力

受信力

聞く力

読む力

同等関係 整理力

対比関係 整理力

因果関係 整理力

話す力

書く力

発信力

受信力

聞く力

読む力

同等関係とは、  
（ 抽象 ）と  
（ 具体 ）の関係  
のことである。

どうとうかんけいとは、ちゅうしょうと ぐたいの かんけい のことである。

絵にかきやすい表現  
に言いかえるのは、

具体化

である。



絵にかきづらい表現  
に言いかえるのは、

抽象化

である。

# 対比関係 2つのポイント

## 1……バランス

対比のバランスとは  
まず**パーツの数**  
次に**抽象度**

## 2……観点の統一

せつもん

読解の設問には3つある。

( 言いかえる設問 )

( くらべる設問 )

( たどる設問 )

である。

「どういうことですか」  
「どのような意味ですか」  
「分かりやすく説明しなさい」  
などというのは、

( 言いかえる ) 設問。

「どう違うのですか」  
「相違点を述べなさい」

そいいてんを のべなさい

などというのは、

( **くらべる** ) 設問。

「なぜですか」  
「理由を説明しなさい」  
などというのは、

( たどる ) 設問。

〈違い〉の型は、  
アはAだが、イはB。  
アはAではなくB。

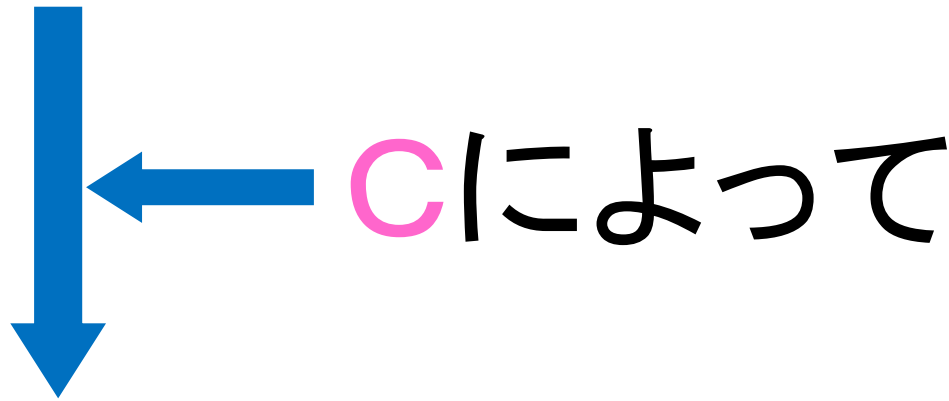
AとBには、  
反対語・否定表現  
が入る。

たいひてき しんじょうへんか

# 対比的な心情変化

(aに対して)

Aだった主人公が

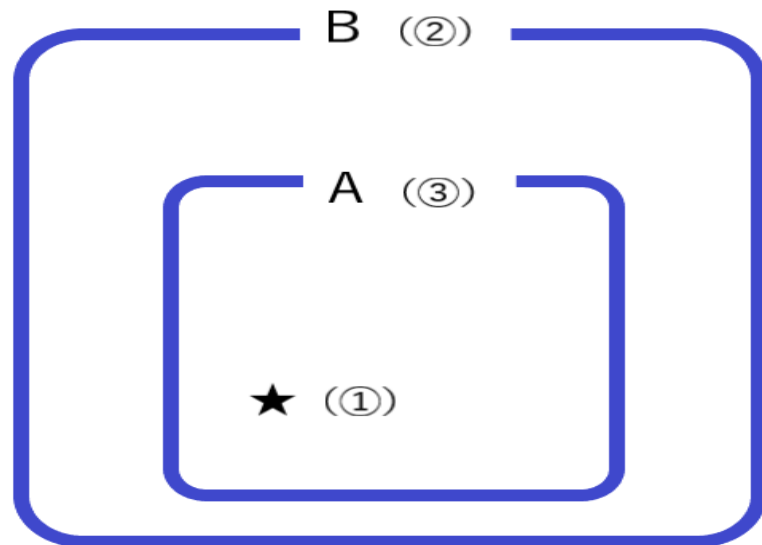


Bに変わる話。



問い:「①は②である」と  
言えるのはなぜか。

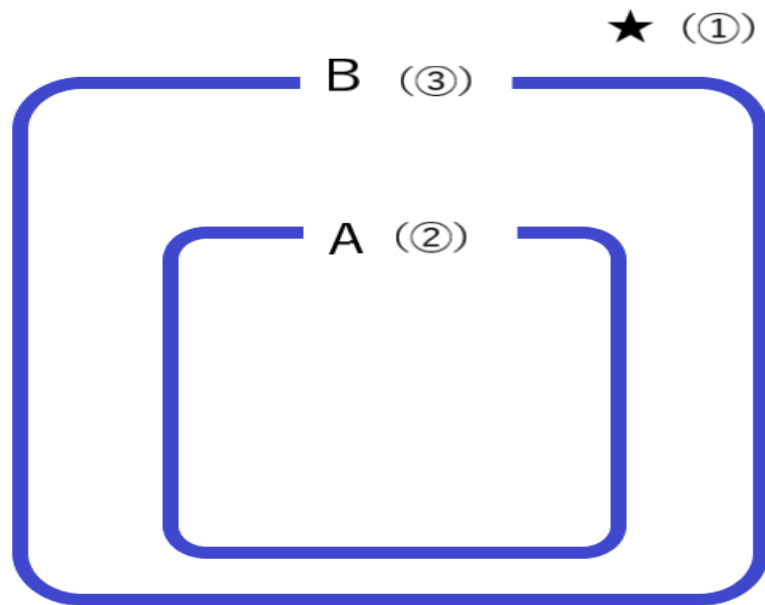
答え:①は③であり、  
③ならば②だから。



ぜんけん こうてい  
前件肯定  
パターン

問い:「①は②でない」と  
言えるのはなぜか。

答え:②ならば③だが、  
①は③ではないから。



こうけん ひてい  
後件否定  
パターン

# 7つの観点とは

時間 空間 自他

---

心理 五感

目的手段 プラスマイナス

もくてき しゅだん

## 200字メソッド

アは1なため Aである。

しかし、イは2なため Bである。

だから、アよりも イのほうが  
Cであると言える。